

人文学部後援会総会の開催報告

6月22日水戸市文京の茨城大学で人文学部後援会の設立総会が開かれ、会長に社会科学科学生の保護者の吉沼洋氏を選任し、平成25年度の事業・予算案なども承認されました。



学生の教育研究活動を支援するための後援会は、工学部、理学部などで既に設立されておりますが人文学部では初めて。これによって、保護者と人文学部の緊密な連携を図るための事業や学生の就職を支援するための事業の本格化が期待されます。

総会には、百人を超える人文学部の保護者らが出席、会場となる人文学部講義棟の10番教室では、記念講演が開かれ、「新卒採用マーケットの概況とは」をテーマに、講師をお願いしたリクルートキャリアの野入卓也氏から、保護者ができる就職支援活動などについて貴重なアドバイスをいただきました。

総会を挟んだ休憩の時間には、茨城大学の学生による管弦楽団から華麗なクラシックの演奏が披露され、参加者が聞き入りました。

学部関係では、人文コミュニケーション学科、社会科学科の各学科長、学生委員会の委員長らが最近の教育研究活動を紹介、学生からは、地域連携関連の活動実績が報告されました。

これに続く総会では、冒頭、主催者の伏見厚次郎学部長が後援会の設立の意義などを説明し、土田惣一・文理・人文学部同窓会長からは祝辞をいただきました。その後、今年度事業・予算案の審議と役員選出、質疑応答へと移り、盛況のうちに終了しました。

終了後、講義棟の2階に設けられた保護者相談会には、父兄が訪れ、教員らと対話する姿が見られました。なお、記念講演、総会前には、後援会理事会が開催されました。